



## ＜フィリピン・リサーチ・レポート＞

情報提供用資料

2020年11月11日

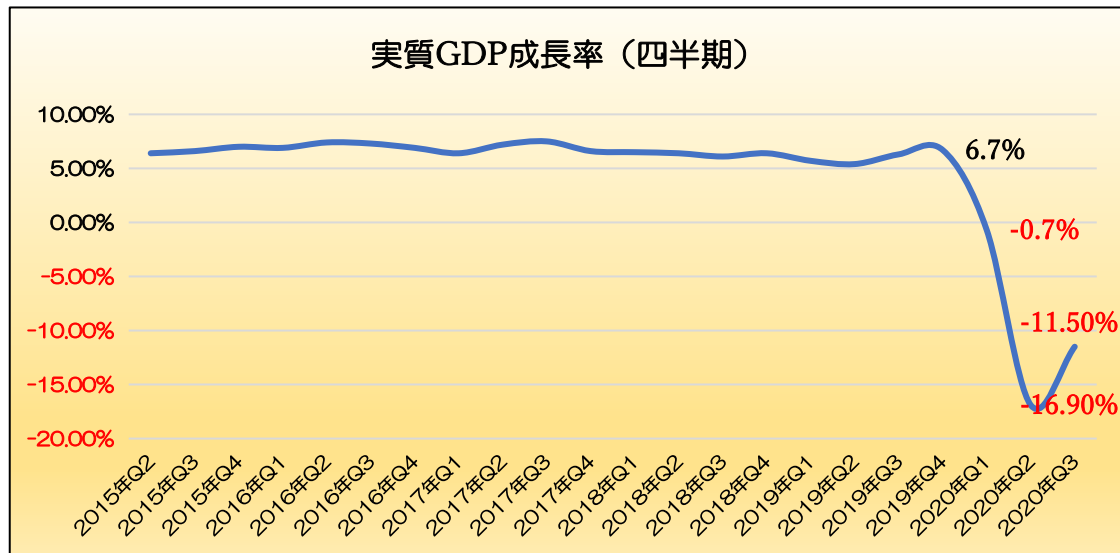
# フィリピンの2020年7-9月GDP成長率

## 3四半期連続マイナスの11.5%減

フィリピン統計庁(PSA)が発表した第7-9月期のGDP(2018年基準)成長率は前年同期比-11.5%と4-6月期に続いて大幅なマイナス。マニラ首都圏とその近郊およびセブ市で移動制限規制が厳格化されたことが響いた。

中国向けを中心に輸出は回復しつつあり(9月は前年同期比+2.2%)、金融・保険は前年同期比+6.2%の伸びだったが、建設投資が同-39.8%と4-6月期の同-33.5%からさらに落ち込んだ。政府支出は同+5.8%を維持したものの家計消費が同-9.3%と依然低迷状態にある。

注)PSAはGDPの基準年を2018年に変更し、過去の数値も改定されている。また2020年4-6月期のGDP成長率を-16.5%から-16.9%に修正した。



出所:PSA  
以上